

大項目	ii 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置
-----	---------------------------------

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(1) 共通的な事務の一元化による業務の効率化								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	・「研究・学芸系職員連絡協議会」を実施し、各博物館における翌年度の展覧会企画等について調整を行い、計画を図った。2 館以上巡回する展覧会として「細川家の至宝」（東博、九博、京博）、「誕生！中国文明」（東博、九博、奈良博）を計画することとした。 ・機構内各施設のグループウェアの統合化を進めた。 これまで機構内各施設では各業務の効果的な遂行のため、個別にグループウェアを検討・導入・運用してきた。今回これらの一本化を図るべく準備を進めたが、年度内実施には至らなかった。								
補足事項	・運用時に必要なネットワークの整備、サーバー設置、バックアップサーバ設置などを、21 年度に行った。22 年 3 月現在、運用開始に向けて最終調整の段階である。 ・グループウェア統合後 機構全体 サイボウズ・ガルーン 2 930 ユーザ（本部・東博 210 ユーザ、京博 100 ユーザ、奈博 60 ユーザ、 九博 150 ユーザ、東文研 150 ユーザ、奈文研 260 ユーザ） ・グループウェア統合前の状況（参考） 本部・東博 サイボウズ・オフィス 6 京博 サイボウズ・ガルーン 2 奈博 なし 九博 ドリーム・アーツ insuite 東文研 サイボウズ・オフィス 6 奈文研 サイボウズ・オフィス 7								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21
年度実績 評価総括	S A ㊀ C F (S、F の理由)								
中期計画 記載事項	共通的な事務の一元化による業務の効率化								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。				ほぼ順調					

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(2) 使用資源の減少																																																																																																		
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京都国立博物館総務課、 奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京 文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課				事業責任者	事務局長 金谷史明																																																																																												
実績・成果	・ 日常の節電節水の周知徹底、夏季の軽装励行、冷暖房の省エネ運転等を行った。 ・ 廃棄物削減では、ミスコピーの防止及び両面印刷の励行、館内 LAN・電子メール等の活用による文書のペーパーレス化を引き続き行っている。 使用資源の推移等 光熱水料金 (単位：千円) <table><tr><th>事項</th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>差額</th></tr><tr><td>電気料（※1）</td><td>427,588</td><td>366,202</td><td>△61,386</td></tr><tr><td>水道料（※2）</td><td>84,044</td><td>93,651</td><td>9,607</td></tr><tr><td>ガス料（※1）</td><td>138,811</td><td>92,510</td><td>△46,301</td></tr><tr><td>計</td><td>650,443</td><td>552,363</td><td>△98,080</td></tr></table> (※1) 電気料・ガス料減少の特殊要因となった施設休館等による影響 <table><tr><th>施設</th><th>休館施設</th><th>電気料</th><th>ガス料</th></tr><tr><td>東京国立博物館</td><td>東洋館（耐震改修工事のため）</td><td>△17,189</td><td>△6,208</td></tr><tr><td>京都国立博物館 （注 1）</td><td>平常展示館（建替工事のため）</td><td>△1,457</td><td>△14,081</td></tr><tr><td>奈良国立博物館</td><td>西新館（耐震工事のため）</td><td>△1,477</td><td>△840</td></tr><tr><td>奈良文化財研究所</td><td>平城宮跡資料館（改修工事のため）</td><td>△8,247</td><td>△1,340</td></tr><tr><td colspan="2">小計</td><td>△28,370</td><td>△22,469</td></tr></table> (注 1) 建替工事及びガス空調から電気空調への全館全面切替による増減を含む。 (※2) 水道使用料増加の特殊要因 <table><tr><th>施設</th><th>内容</th><th>金額</th></tr><tr><td>東京国立博物館</td><td>「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （4 月 1 日～6 月 7 日）</td><td>2,003</td></tr><tr><td>九州国立博物館</td><td>「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （7 月 14 日～9 月 27 日）</td><td>2,026</td></tr><tr><td>京都国立博物館</td><td>平常展示館建替工事に係る工事用水使用料</td><td>4,251</td></tr><tr><td>九州国立博物館</td><td>雨水貯留槽汚染（10 月 20 日～3 月 2 日）に伴う上水使用料</td><td>1,520</td></tr><tr><td colspan="2">小計</td><td>9,800</td></tr></table> (参考) 特殊要因を考慮した光熱水料金 <table><tr><th>事項</th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>差額</th></tr><tr><td>電気料</td><td>427,588</td><td>394,572</td><td>△33,016</td></tr><tr><td>水道料</td><td>84,044</td><td>83,851</td><td>△193</td></tr><tr><td>ガス料</td><td>138,811</td><td>114,979</td><td>△23,832</td></tr><tr><td>計</td><td>650,443</td><td>593,402</td><td>△57,041</td></tr></table> (※1) (※2) を考慮 廃棄物排出量 (単位：kg) <table><tr><th>事項</th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>増減率（％）</th></tr><tr><td>一般廃棄物</td><td>247,491</td><td>228,045</td><td>△7.86</td></tr></table> リサイクル実施例 (1) 廃棄物の分別収集 (2) リサイクル業者への古紙受け渡し (3) 再生紙の発注等									事項	20 年度	21 年度	差額	電気料（※1）	427,588	366,202	△61,386	水道料（※2）	84,044	93,651	9,607	ガス料（※1）	138,811	92,510	△46,301	計	650,443	552,363	△98,080	施設	休館施設	電気料	ガス料	東京国立博物館	東洋館（耐震改修工事のため）	△17,189	△6,208	京都国立博物館 （注 1）	平常展示館（建替工事のため）	△1,457	△14,081	奈良国立博物館	西新館（耐震工事のため）	△1,477	△840	奈良文化財研究所	平城宮跡資料館（改修工事のため）	△8,247	△1,340	小計		△28,370	△22,469	施設	内容	金額	東京国立博物館	「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （4 月 1 日～6 月 7 日）	2,003	九州国立博物館	「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （7 月 14 日～9 月 27 日）	2,026	京都国立博物館	平常展示館建替工事に係る工事用水使用料	4,251	九州国立博物館	雨水貯留槽汚染（10 月 20 日～3 月 2 日）に伴う上水使用料	1,520	小計		9,800	事項	20 年度	21 年度	差額	電気料	427,588	394,572	△33,016	水道料	84,044	83,851	△193	ガス料	138,811	114,979	△23,832	計	650,443	593,402	△57,041	事項	20 年度	21 年度	増減率（％）	一般廃棄物	247,491	228,045	△7.86
事項	20 年度	21 年度	差額																																																																																																
電気料（※1）	427,588	366,202	△61,386																																																																																																
水道料（※2）	84,044	93,651	9,607																																																																																																
ガス料（※1）	138,811	92,510	△46,301																																																																																																
計	650,443	552,363	△98,080																																																																																																
施設	休館施設	電気料	ガス料																																																																																																
東京国立博物館	東洋館（耐震改修工事のため）	△17,189	△6,208																																																																																																
京都国立博物館 （注 1）	平常展示館（建替工事のため）	△1,457	△14,081																																																																																																
奈良国立博物館	西新館（耐震工事のため）	△1,477	△840																																																																																																
奈良文化財研究所	平城宮跡資料館（改修工事のため）	△8,247	△1,340																																																																																																
小計		△28,370	△22,469																																																																																																
施設	内容	金額																																																																																																	
東京国立博物館	「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （4 月 1 日～6 月 7 日）	2,003																																																																																																	
九州国立博物館	「阿修羅展」開催期間中の来館者増員分水道使用料 （7 月 14 日～9 月 27 日）	2,026																																																																																																	
京都国立博物館	平常展示館建替工事に係る工事用水使用料	4,251																																																																																																	
九州国立博物館	雨水貯留槽汚染（10 月 20 日～3 月 2 日）に伴う上水使用料	1,520																																																																																																	
小計		9,800																																																																																																	
事項	20 年度	21 年度	差額																																																																																																
電気料	427,588	394,572	△33,016																																																																																																
水道料	84,044	83,851	△193																																																																																																
ガス料	138,811	114,979	△23,832																																																																																																
計	650,443	593,402	△57,041																																																																																																
事項	20 年度	21 年度	増減率（％）																																																																																																
一般廃棄物	247,491	228,045	△7.86																																																																																																
補足事項																																																																																																			
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21																																																																																										
	光熱水料	8.77%減	年間 1.03%減	S		—	1.6%増	2.3%減	8.77%減																																																																																										
	一般廃棄物排出量	7.86%減	年間 1.03%減	S	—	2.9%減	9.3%減	7.86%減																																																																																											
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)																																																																																																		
中期計画 記載事項	(2) 使用資源の減少 ・ 省エネルギー（5 年期間中 1 年に 1.03%の減少） ・ 廃棄物減量化（一般廃棄物排出量を 5 年期間中 5%減少） ・ リサイクルの推進																																																																																																		
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																																																																																														

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進									
担当者	担当部課	総務課	事業責任者			総務課長 吉田勇人				
実績・成果	パーティー、コンサート、撮影への施設利用（平常展も観覧いただくようにし、新たな入館者の開拓も目的とする）、茶室の貸出等の促進による施設の有効利用を図った。									
	施設名		平成 21 年度							
	講堂等		114 件（内 有償貸付 82 件）							
	茶室		119 件（内 有償貸付 73 件）							
	その他（本館・表慶館・ラウンジ・前庭）		108 件（内 有償貸付 107 件）							
	合 計		341 件 収入額 38,495,495 円							
入館者の拡大を目的とするコンサートとして ・「ファミリーコンサート」（7月26日 共催：東京クラリネットクワイアー） ・「ジェラルド・プーレ ヴァイオリンコンサート」（12月12日 制作協力：瀧井敬子） ・「関孝弘 ピアノコンサート」（7月5日 共催：サロン・ド・ソネット） 等を、講演会として、 ・「東大寺講演会」（1月27日 共催：東大寺） 演芸として、 ・「新春東博寄席」（1月11日） など様々なイベントを実施した。										
補足事項	・今年度、撮影案内パンフレットを作成し、出版社、テレビ等映像制作会社、広告代理店、フリーカメラマン等に送付した。結果、昨年度より撮影での使用件数、収入とも大幅な増加となった。今後はお茶室・講堂等のさらなる利用促進についても方策を検討していきたい。 ・来館者に展示観覧と併せてコンサート等を楽しんでもいただけるよう、イベントの開催時間を開館時間中に設定することに努めた。 ・来館者数が比較的少ない平常展のみの期間に開催できるイベントを重点的に行い、来館者数の増加に貢献した。 ・施設の有効利用件数について、平成 20 年度までは利用施設数を算出していたが、平成 21 年度から利用申込数に変更した。									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21	
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	341 件 262 件	— —	— —		751 233	885 350	574 238	341 262	
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)									
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調					

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進									
担当者	担当部課		総務課		事業責任者		総務課長		大西真一	
実績・成果	特別展示館等を積極的に活用するなど施設の有効利用の推進を図った。									
	なお、平常展示館建替工事に伴い昨年度12月8日より講堂が使用できなくなったため、展覧会等に関する講演会、夏期講座及び年4回開催しているらくご博物館は館外の施設を利用して行うこととなった。									
	特別展示館									
	・バロックコンサート（開催日1日 入場者196名） ・ミニコンサート（開催日7日 入場者約280名） 庭園（丸池周辺） ・自転車発電エコライブ（開催日1日 参加者 約100名） 館外の施設を利用 ・展覧会等に関する講演会（講座回数15回 聴講者数 合計 2115名） ・夏期講座（開催日3日間 参加者 179名） ・らくご博物館（年4回 入場者697名） ・音楽とスイーツで楽しむもう一つのハブスブルク展（開催日1日 入場者149名） また、外部団体等の講演会・研修会等への施設の貸し出しを積極的に行った。									
	外部使用件数				使用料					
	研修室等		21件（うち有償13件、無料8件）		291,375円					
	茶室		14件（うち有償13件、無料1件）		151,200円					
	計		35件		442,575円					
補足事項	特別展示館の中央ホール									
	・特別展示館の中央ホールでバロックコンサートを開催したところ、満員の大盛況であった。									
	・特別展覧会期間中に特別展示館の中央ホールでミニコンサートを開催したところ、盛況であった。									
	庭園（丸池周辺）									
	・エコライブは、夏空の元で開催し、一般観覧者も自転車発電のこぎ手として参加、観客とも大盛況であった。									
	茶室									
	・当館に茶室が設けられていることが徐々に浸透してきたのか茶道愛好家の利用が多い。									
	講堂の建替にともなう措置									
	講堂については、平常展示館建替工事に伴いリニューアルオープンするまで、約5年間使用できない。このため、「土曜講座」・「らくご博物館」の開催会場は、館外の施設を利用し、今後も継続開催する。									
	・昭和48年から毎週土曜日に開講の「京都国立博物館土曜講座」の会場として活用し、当館の長寿看板講座となっている。館外の施設を利用しているにもかかわらず、盛況であった。									
・当館の恒例となっている夏期講座も館外の施設を利用したが、盛況であった。										
・四季それぞれの時候にあわせた「京都・らくご博物館」も館外の施設による開催であったが、毎回ほぼ満席の盛況にある。										
・「THE ハブスブルク」展開催記念企画として、音楽とスイーツを同時に楽しめ、特別展覧会もお楽しみいただけるコンサートを開催したところ、盛況であり、入場者に変大好評であった。										
定量的評価	項目		実績		目標値		評価		経年変化	
	施設の有効利用件数		35件		—				18	
	うち有償利用件数		26件		—				19	
年度実績 評価総括	S		(A)		B		C		F	
	(S、Fの理由)									
	(3) 施設有効使用の推進									
中期計画 記載事項	・施設の利用推進									
	中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進																																				
担当者	担当部課		総務課渉外室		事業責任者		渉外室長 添田美由紀																														
実績・成果	・施設の利用 講堂：公開講座（16回、2,043人）、サンデートーク（11回、584人）、正倉院展ボランティア解説（20日間計112回）、世界遺産学習（29校、2,205人） ・イベント等の実施 敷地内：唐招提寺の蓮展示 講堂：まほろば寄席（3回）、まほろば講座（3回）、特別展開連映画上映（国宝鑑真和上展：「天平の甕」、聖地寧波：「ぼくの孫悟空」）、皇室写真展、NHK 制作番組「宝物を守り伝える」上映会&講演会 仏教美術資料研究センター：夏休みお線香手づくり体験講座 地下回廊：にんぷろカルタ大会、絵画コンクール入賞作品展示 西新館ピロティ：NHK 日曜美術館で紹介した正倉院宝物の映像放映 ・会場提供 敷地内：なら燈花会、クラシックカーラリー2009 奈良、コンサート（おはなしステージ in なら燈花会）、第 11 回バサラ祭、なら国際映画祭プレイベントでの映画上映（河瀬直美監督作品「沙羅双樹」）、茶会（3回） 講堂：映画祭（河瀬直美監督作品「火垂 2009 version」）、放送大学面接授業、奈良市教育委員会主催教員研修講座 仏教美術資料研究センター：書道展「天墨の書」、結婚式 地下回廊：シルクロード写真パネル展示、「奈良のうまいもの」パネル展示 西新館ピロティ：陶芸展「火垂窯の仲間たち」、正倉院展での呈茶席																																				
補足事項	施設の有効利用件数 内訳 <table><tr><td>講演会等</td><td>8</td><td>(4)</td></tr><tr><td>茶会等</td><td>5</td><td>(4)</td></tr><tr><td>映画上映会</td><td>14</td><td>(1)</td></tr><tr><td>観光イベント</td><td>3</td><td>(2)</td></tr><tr><td>展示</td><td>7</td><td>(1)</td></tr><tr><td>まほろば寄席</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>まほろば講座等</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>14</td><td>(9)</td></tr><tr><td>計</td><td>59</td><td>(21)</td></tr></table> ()内は有償利用件数で内数						講演会等	8	(4)	茶会等	5	(4)	映画上映会	14	(1)	観光イベント	3	(2)	展示	7	(1)	まほろば寄席	4		まほろば講座等	4		その他	14	(9)	計	59	(21)	 夏休みお線香手づくり体験講座  まほろば寄席			
講演会等	8	(4)																																			
茶会等	5	(4)																																			
映画上映会	14	(1)																																			
観光イベント	3	(2)																																			
展示	7	(1)																																			
まほろば寄席	4																																				
まほろば講座等	4																																				
その他	14	(9)																																			
計	59	(21)																																			
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21																												
	施設の有効利用件数	59 件	—	—		79	122	84	59																												
	うち有償利用件数	21 件	—	—		28	18	23	21																												
年度実績 評価総括	S ㊤ B C F (S、Fの理由)																																				
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進																																				
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																																

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進									
担当者	担当部課	交流課	事業責任者	主任主事 藤崎秀典						
実績・成果	・文化交流展示室を紹介する講座の開催や各特別展に関連する講演会を開催した。 ・ミュージアムホール、エントランスホール、研修室等において、各種団体主催のイベントを開催するとともに、希望団体にはミュージアムホール、研修室の貸出を行った。 ・各種国際シンポジウム、アジア諸国に関するイベント、留学生の日のイベント等を開催した。 ・ガムランワークショップや、コンサートの開催等を継続的に実施し、施設の有効活用を促進した。 ミュージアムホールの利用 76 件 (内 有料 11 件) 研修室の利用 88 件 (内 有料 58 件) その他(エントランスホール 外) 86 件 (内 有料 0 件)									
補足事項	・特別展関連講演会 「聖地チベット」展関連椎名誠講演会「チベットの青い空ーカイラス巡礼記」（期間：4/25，参加者数：330 名）等を開催した。 ・各種団体主催イベント 吉野ヶ里 Days in 九博（期間：8/29～8/30，参加者数：670 名）等を開催した。 ・コンサート きゅーはくミュージアムコンサートを毎月開催した。 ・留学生の日イベントとして、きもの体験、茶道体験（期間：11/3）を開催した。  吉野ヶ里 Days in 九博									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21	
	施設有効利用件数 うち有償利用件数	250 件 69 件				— —	188 28	193 45	250 69	
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)									
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。			順調							



吉野ヶ里 Days in 九博

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化								
事業名	(3) 施設有効利用の推進								
担当者	担当部課	東京文化財研究所管理部			事業責任者	管理部長 北出猛夫			
実績・成果	・セミナー室、会議室等を利用することにより、施設の有効利用の推進を図った。 ・研究成果を広く一般にも公表するためのオープンレクチャーを毎年秋に開催。また、このレクチャーは、台東区との連携事業として「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の講演会シリーズのプログラムの一つとしても企画された。								
補足事項	 第43回オープンレクチャー「人とモノの力学」の様様								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価		18	19	20	21
	施設の有効利用数	178 件	—	—	経年 変化	—	266	140	178
	うち有償利用数	13 件	—	—		—	40	21	13
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	(3)施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(3) 施設有効利用の推進								
担当者	担当部課	管理部	事業責任者	管理部長 多 昭彦					
実績・成果	会議室、セミナー室等一般の利用に供することが可能な施設の有料貸付を実施し、施設の有効利用の推進を図った。								
	施設名		21 年度						
	平城宮跡資料館講堂		26 件 (内 有償貸与 1 件)						
	平城宮跡資料館小講堂		35 件 (内 有償貸与 0 件)						
	寄宿舍施設		1,115 件 (内 有償貸与 27 件)						
	飛鳥資料館講堂		4 件 (内 有償貸与 0 件)						
	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)		31 件 (内 有償貸与 12 件)						
	合計		1,211 件 (内 有償貸与 40 件)						
	① 平城宮跡資料館講堂及び小講堂については、平城宮跡資料館の改修工事のため、平成 21 年 6 月から閉鎖した。それまでは、調査研究成果を公表する場として講習会、研究会、学会等を開催した。さらに、広く国民に文化財への理解を求めるべく、セミナー及び一般参加型のイベント等を開催した。 ② 一般利用申し出への行政サービスの向上を図る方針のもとに、HP 上での施設利用紹介等による積極的有効利用 (貸付等) の促進を図った。 ③ 奈良文化財研究所が企画実施する研修等に際して、宿泊施設の有効活用を図った。 ④ 飛鳥資料館講堂において、企画展示・特別展示期間に講演会等を開催した。 ・夏期企画展示 (「甦るクメール文明世界文化遺産アンコール遺跡群」(約 50 名参加)) ・秋期特別展示 (「北方騎馬民族のかがやき 三燕文化の考古新発見」(127 名参加)) ・団体入館者の要望に応じて、モニター映像による集合解説を実施した。(年間 2 回・約 50 名参加) ・キトラ古墳壁画公開会場とした。(期間中 3 万人) ⑤ 上記のほか、平城宮跡資料館、飛鳥資料館の各ミュージアムショップ (売店) の運営を外部委託し、図録等の販売を通して来館者の利便に供した。								
	補足事項	平成 20 年度実績							
	施設名		20 年度						
	平城宮跡資料館講堂		107 件 (内 有償貸与 2 件)						
	平城宮跡資料館小講堂		137 件 (内 有償貸与 0 件)						
	寄宿舍施設		1,824 件 (内 有償貸与 64 件)						
	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)		11 件 (内 有償貸与 5 件)						
	合計		2,079 件 (内 有償貸与 71 件)						
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	1,211 件 40 件	— —	— —		— —	1,841 75	2,079 71	1,211 40
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)								
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。			順調						

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(4) 民間委託の推進									
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京 都国立博物館総務課、奈良国立博 物館総務課、九州国立博物館総務 課、東京文化財研究所管理部、奈 良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明				
実績・成果	- 全ての施設において、電気設備保守業務、機械設備保守業務、昇降機設備保守点検業務、売札業務、各種事務補助作業、清掃業務、構内樹木等維持管理業務等について、民間委託を実施している。 - 全ての博物館は警備・展示室監視等業務の大部分を外部委託している。 また、研究所は警備業務を外部委託している。 - 博物館の来館者サービスに関しては、インフォメーション業務、図書・写真資料を閲覧等の利用に供するサービス及び図書整理業務等について民間委託を実施している。 - 東京国立博物館及び東京文化財研究所で施設管理・運営業務（展示等の企画運営を除く）について民間競争入札を実施しているほか、東京国立博物館では展示場における来館者応対等業務についても民間競争入札を実施し、平成 22 年 4 月 1 日から民間委託を実施予定。									
補足事項	- 外部委託が可能な業務については、概ね民間委託を進めている。 - また、複数の業務についての包括契約化、複数年契約、近隣の機関及び法人内同一地域での一括契約等の実施により、経費の削減を図っている。 - 民間委託の増加に伴い、契約手続きや指導・監督の業務負担が増加しているが、人員削減が進み、ノウハウの蓄積など、限られた職員では対応が困難な場合も生じてきている。									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21	
	－	－	－	－		－	－	－	－	
年度実績 評価総括	S ④ B C F (S、Fの理由)									
中期計画 記載事項	(4) 民間委託の推進 - 一般管理部門を含めた組織・業務の見直しを行い、民間開放をさらに積極的に進める。 - 館の警備・清掃業務について民間委託を推進する。 - 来館者サービスを中心に業務の見直しを行い、民間委託を積極的に進める。									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調					

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(5) 一般競争入札の推進																						
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京 都国立博物館総務課、奈良国立博 物館総務課、九州国立博物館総務 課、東京文化財研究所管理部、奈 良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明																	
実績・成果	・ 列品等修理契約について、新たに修理契約委員会を設置し、修理可能な業者が複数存在すると判断された契約について、企画競争へ移行した。 ・ 随意契約の見直しで、21 年度に一般競争へ移行するとして電気供給契約について、全ての施設で一般競争入札を実施した。 ・ その他新たに、自動券売機賃貸借、機械警備について一部施設で一般競争入札を実施した。 一般競争入札件数 <table><tr><th>年度</th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>142 件</td><td>202 件</td><td>60 件</td></tr></table> (参考) 電気供給契約額前年度対比（法人全体） (単位：千円) <table><tr><th>20 年度契約額</th><th>21 年度契約額</th><th>差額 (21-20)</th></tr><tr><td>372, 224</td><td>369, 965</td><td>△2, 259</td></tr></table>									年度	20 年度	21 年度	増減	件数	142 件	202 件	60 件	20 年度契約額	21 年度契約額	差額 (21-20)	372, 224	369, 965	△2, 259
年度	20 年度	21 年度	増減																				
件数	142 件	202 件	60 件																				
20 年度契約額	21 年度契約額	差額 (21-20)																					
372, 224	369, 965	△2, 259																					
補足事項	・ 「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて (21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき、外部委員で構成された契約監視委員会を設置し、機構が 20 年度及び 21 年度に締結した契約（委員会開催時見込みの契約も含む。）の点検・見直しを行っている。 第 1 回契約監視委員会（平成 22 年 1 月 12 日開催） 第 2 回契約監視委員会（平成 22 年 3 月 5 日開催） ・ 総務省からの要請に基づき、「独立行政法人整理合理化計画（19 年 12 月 24 日閣議決定）」の一環として、随意契約の見直しを行い、随意契約によることがやむを得ないものを除き、引き続き競争契約に移行している。 ・ 「独立行政法人整理合理化計画」の方針に基づき、東京国立博物館等の施設管理・運営業務（展示等の企画運営を除く）及び東京国立博物館の展示場における来館者応対等業務について、民間競争入札を実施している。																						
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21														
	一般競争入札件数	202 件	－	－		－	98 件	142 件	202 件														
年度実績 評価総括	S ① B C F (S、F の理由)																						
中期計画 記載事項	(5) 競争入札の推進 ・ 契約業者の競合を一層推進することにより、経費の効率化を図る。																						
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																		

中項目	ii-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	-----------------------------

事業名	(6) 定量的な目標の設定									
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、 京都国立博物館総務課、奈良国 立博物館総務課、九州国立博物 館総務課、東京文化財研究所管 理部、奈良文化財研究所管理部 管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明				
実績・成果	1) 入場料収入（共催展を除く）及びその他収入について、1. 16%の増加を目指す。									
	下表のとおり、8. 67%となり、目標を上回ることができた。									
	(単位：千円)									
		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度						
	自己収入基準額	——	864, 089	874, 112						
	自己収入目標額	①864, 089	②874, 112 (①×1. 16%増)	884, 252 (②×1. 16%増)						
	自己収入実績額	——	——	949, 900						
	増 加 率	——	——	8. 67%						
	※ 受託研究・受託事業を除く。									
	※ 自己収入目標額は、前年度の目標額から 1. 16%増加した場合の額。ただし平成 19 年度自己収入目標額は、平成 19 年度自己収入実績額から特殊要因である京都国立博物館平常展示館建替工事による影響額等を除して算定。									
※ 増加率は、自己収入基準額（前年度の目標額）に対する増加率。										
補足事項	2) 寄附金 226 件及び科学研究費補助金 76 件の確保を目指す。									
	下表のとおり、寄附金及び科学研究費補助金ともに目標件数を上回ることができた。									
		目標値	平成 21 年度							
	寄附金	226 件	290 件							
	科学研究費補助金	76 件	86 件							
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	18	19	20	21	
	・ 自己収入増加率	8. 67%	1. 16%	S		—	—	—	8. 67%	
	・ 寄附金	290 件	226 件	A		—	—	—	290 件	
	・ 科学研究費	86 件	76 件	A		—	—	—	86 件	
年度実績 評価総括	S ④ B C F (S、Fの理由)									
中期計画 記載事項	Ⅲ 予算 収入面に関して、実績を勘案しつつ、税制措置も活用した寄附金などの外部資金、施設使用料等の財源の多様化を図り、法人全体として積極的に自己収入の増加に努めることにより、計画的な収支計画による運営を図る。									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調					

中項目	ii-2 事業評価の実施及び職員の意識改善
-----	-----------------------

事業名	事業評価の実施及び職員の意識改善								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	・20年度運営改善コンクールにおいて採択された案件について具体的な検討を図り、一部については実施して、職員の意見を事業に反映させた。								
補足事項	・運営改善コンクール採択案件の実施状況は下記のとおりである。 ①生理用品の自動販売機の設置について： 東博に2台設置（平成館・本館）、京博・奈良博・九博においては引き続き検討中。（申し出られた方には個々に対応している） ②撮影申込者増加のための撮影紹介パンフレットの作成・HPの掲載方法の修正（東博）： パンフレットを製作した。HPについては全体リニューアル計画に含めて検討を続ける。 ③研究者一覧（データベース）の作成： 学芸・研究系職員連絡協議会において具体的に検討され、各施設で漸次整備を進めている。 ④規程集のウェブ化： 機構内グループウェアと合わせて検討を続ける。								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	18	19	20	21
年度実績 評価総括	S ㊤ B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	外部有識者も含めた事業評価の在り方について適宜、検討を行いつつ、年1回以上事業評価を実施し、その結果は組織、事務、事業等の改善に反映させる。また、研修等を通じて職員の理解促進、意識や取り組みの改善を図っていく。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	ii-3 情報の安全性向上
-----	---------------

事業名	情報の安全性向上								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	1) 20年度に作成した知的財産管理体制報告書に基づき、知的財産検討ワーキンググループを設置し、規定整備のための検討を図った。 2) 情報システム点検・評価要項に基づき、各施設において情報システム点検の実施を検討し、情報セキュリティの向上に努めた。(点検は次年度に実施する。)								
補足事項									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	18	19	20	21
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	機構が管理する情報の安全性向上のため、必要な措置をとる。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	ii-4 人件費の削減
-----	-------------

事業名	人件費の削減										
担当者	担当部課		総務企画課		事業責任者		総務企画課長 藤本慎也				
実績・成果	・人件費削減実績										
		17年度 (A分類 実績ベース)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度目標値 (17年度に比して△5.00%)				
	実績(千円)	2,878,750	2,789,360	2,773,688	2,745,389	2,688,829	2,734,812				
	前年度に対する削減率	—	△3.11%	△0.56%	△1.02%	△2.06%	—				
	17年度に対する削減率	—	△3.11%	△3.65%	△4.63%	△6.60%	—				
	17年度に対する削減率 (補正值)	—	△3.11%	△4.35%	△5.33%	△4.90%	—				
	・人事給与統合システムが平成20年4月から稼働し、機構全体として統一的な処理ができるようになった。さらに人件費の削減に向けたシミュレーション等により人件費に関する計画を円滑に企画・立案することができた。										
	・地域手当について、平成22年度において平成21年度の率を据え置く方針が決定された。										
	補足事項	※1 人件費削減実績表中の「補正值」とは、「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)による人事院勧告を踏まえた官民の給与較差に基づく給与改定分を除いた削減率である。なお、平成18年、平成19年、平成20年、平成21年の行政職(一)職員の年間平均給与の増減率はそれぞれ0%、0.7%、0%、△2.4%である。 ※2 レクリエーション経費は運営費交付金からの支出はない。レクリエーション経費以外の福利厚生費(法定外福利費)は13,189千円である。また、国とは異なる諸手当は機構にはない。									
	定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	18	19	20	21	
人件費削減率(17年度比較)	△6.60%	17年度決算額に比して5年間で5%削減	—	△3.11%	△3.65%		△4.63%	△6.60%			
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)										
中期計画記載事項	・「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間に於いて、△5%以上の人件費削減を行う。また、国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系の見直しを行う、更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成22年度まで継続する。										
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調						